

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント

BRICs ファンドを設定

～ 国内系の資産運用会社として初めて、BRICs 諸国への投資機会を提供 ～

[東京 2006年2月10日] 日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO:ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、国内系の資産運用会社としては初めて、BRICs ファンドを日本の投資家向けに設定します。この「日興 BRICs 株式ファンド」は、ブラジル、ロシア、インド、中国等の株式に投資する円建てのファンド・オブ・ファンズで、日興コーディアル証券株式会社を通じて販売されます。当初申込期間は 2006年2月20日から2月28日までとなっております、3月1日に設定、運用を開始します。

当ファンドは、投資家の皆様に成長が期待される BRICs 諸国の市場への投資機会を提供することを目的として開発されました。4 カ国の市場それぞれにおいてボトムアップ分析を重視した銘柄選定を行ない、その国別に運用されるファンドをファンド・オブ・ファンズ方式によりパッケージ化して提供します。そのため、単独の新興国株式ファンドに投資した場合に比べて、リスク分散の効果が期待できます。高成長が期待される BRICs 市場への投資に興味はあるがリスクが懸念されるという投資家ニーズを踏まえ、投資信託という器を活用し、分散投資によりこれらの投資家ニーズに応えることを目指した商品です。

日興 AM では、社長兼 CIO(最高投資責任者)であるビル・ワイルダーの指揮のもと、各国の株式市場動向やファンダメンタルズなどを考慮して、当ファンドの全体的な資産配分を決定します。また四半期ごとに、JPモルガン・インベストメント・マネージメント・インクより、各国の経済情勢および市場環境等を考慮した資産配分に関する助言を受けます。

- 中国: 日興 AM の中国チームが、日興 AM 中国 A 株ファンド(愛称:黄河)において市場を大きく上回る好成績を達成した実績ある運用プロセスを適用し、ボトムアップ分析による銘柄選定を行ないます。B 株、H 株のほか、BRICs 市場への投資を行う既存のファンドには組み入れられていない A 株も投資対象となります。
- インド: 日興 AM のシンガポール現地法人である日興アセットマネジメント シンガポール リミテッドにおいて、インド市場を専門とするポートフォリオ・マネージャーとして豊富な経験を有する、アディティア・アルビンド・パルワンカーが投資責任者として運用を行ないます。インド現地で運用実績を持つ複数の資産運用会社から提供される情報ネットワークを活用しながら、実際にインド企業を訪問して調査を行ない、投資成果の達成を目指します。
- ロシア、ブラジル: 新興国株式市場の運用において 30 年以上の経験と、独自に開発した運用プロセスを有する JPモルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用を行います。

新ファンド設定にあたり、取締役会長兼 CEO のティモシー・マッカーシーは次のように述べています。「このたび、国内系の資産運用会社としては初めて、BRICs ファンドを日本の投資家の皆様にお届けする運びとなり、大変嬉しく思います。BRICs 市場では、人口規模の大きさがもたらす労働力と、今後顕著な伸びが見込まれる中産階級の消費需要、ならびに豊富な天然資源が、投資機会を生む原動力となっています。日興 AM では、中国 A 株ファンドの成功で実証されたボトムアップ分析を用いて、これらの市場における投資機会を見極めてまいります。この日興 BRICs 株式ファンドが投資家の皆様の新たなポートフォリオ作りに活用される事を願います。」

以上